



農業の魅力、食の大切さを学ぶ 中学校大根収穫体験

12月20日(金)、津奈木中学校1年生 28人が自分たちで育てた大根を収穫して干す作業を行いました。これは町が進める「つなぎ FARM」の取り組みの一つで、地元特産の寒漬大根づくりに取り組み、農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JA津奈木青壮年部と協力して行っています。完成した寒漬大根はつなぎ百貨堂などで販売する予定です。



↑大きく育った大根を協力して抜く

↓男女和気あいあいと試合を楽しみました



笑顔で楽しくプレー フレンドリーカップ・ビーチバレー大会

12月8日(日)、ビーチバレーを通じて交流や親睦を深めることを目的に「第8回フレンドリーカップ・ビーチバレー大会」がB&G体育館で開かれ、9チーム(約70人)が参加しました。会場ではファインプレーや珍プレーに歓声や笑い声があがり、男女共に楽しみながら交流を深めました。閉会式の抽選会では、全チームに賞品が贈られました。

都市と地方の架け橋に 津奈木とつながる1日

12月21日(土)、「津奈木とつながる1日」が福岡県福岡市の新高砂マンションで開かれました。本イベントは都市と地方の交流促進を図ることを目的に令和4年度から取り組んでいるものです。会場では、餅つきやだご汁のふるまいをはじめ、特産品や生産者による農産物の販売などを実施。ついた餅はその場で丸めて販売。訪れた人たちは美味しそうにつきたての餅を頬張っていました。



↑たくさんの人が会場を訪れました

↓力いっぱい餅をつく参加者



↑現地の出店者との1日限定のコラボ商品

観光を通じて町おこしを目指す 地域おこし協力隊委嘱状交付式

12月2日(月)、町役場応接室で地域おこし協力隊委嘱状交付式が開かれ、増田佳奈さん(八代市出身)を任用しました。任期は最長3年。業務は「観光推進業務」を担当します。増田さんは「たくさんの素敵が詰まった津奈木町。その魅力に触れて知ることから始められたらと思っています。みなさん色々教えてください!よろしくお願いします」と話していました。



↑地域おこし協力隊の委嘱を受けた増田さん(右)

スマホのルールを決めよう! メディアとの関わり方を考えるワークショップ

12月5日(木)、津奈木小学校で、児童・教員・保護者の代表者がスマホなどの通信機器の使用に関するルールづくりについて意見交換を実施しました。話し合いでは「使用は寝る時間の1時間前まで」や「場所の指定はしないが、部屋の鍵などを閉めて使用しない」などのルールを設定。今後は学年ごとのルールを決めていく予定です。



↑3者の立場からさまざまな意見がでました

↓大きな歯の模型を使って歯の磨き方を指導



いつまでも健康な歯を目指して 小学校歯みがき教室

11月28日(木)、津奈木小学校6年生を対象に水俣芦北歯科衛生士会で結成する「はみがき隊」が、歯みがき教室を開きました。歯周病と体の関係などを学び、正しい歯の磨き方を指導。歯垢染色剤で赤く染めた歯を手鏡で確認しながら、磨くコツを習いました。児童たちは普段の磨き方を振り返りながら、しっかり丁寧に磨く大切さを学びました。

↓丁寧に苗を植える児童たち



大きく育ちますように 小学校サラダ玉ねぎ苗植え体験

12月4日(水)、津奈木小学校3・4年生がサラダ玉ねぎの苗植えを体験しました。町が進める「つなぎ FARM」の取り組みの一つで、JA津奈木青壮年部と協力して行っています。植え付けたサラダ玉ねぎは株式会社食文化の協力のもと本校の児童が作成する商品ページやレトルトカレーに加工して販売を予定しています。